

平成19年度 区民利用施設の管理運営に係る事業計画書

施設名：横浜市中本牧コミュニティハウス
指定管理者：中区区民利用施設協会
館長名：興水 文博

1 施設の管理運営に対する基本的考え方

横浜市地区センター条例、中区区政運営方針に基づき地域住民の中核施設として各種の自主活動と区民相互の交流の場づくりという目的を達成できるよう管理運営を行います。

そのため、ア「利用者の満足度の向上」

イ「地域活動の拠点としての活性化」

ウ「合理的運営」

などの経営方針のもとに「費用対効果」

「コスト管理」など様々な角度や視点から創意工夫を効果的に引き出し、その実現を図り公益的使命を達成します。また、具体的行動指針として「館長憲章」を定め「笑顔・親切・安全」を基本として職員は地域と利用者のためにあるということを基本にあらゆる可能性を追求し達成します。

2 施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること

(1) 地域との連携に関する計画について

この地域は、マイカル本牧に近い密集した住宅と小規模のマンションの混在する商店街及びバス便の存する都市計画道路（通称本牧通り）により南北に分断された平坦な住宅地で幼稚園、小学校が複数存在しています。それらの特徴を踏まえ、さらにこの施設が従来の青少年図書館の機能と地域コミュニティの中核としての機能を併せもち南側の約700㎡の敷地が「こどもの遊び場」として開放されている状況を勘案し区の重点施策でもある「こどもが健やかに育つ環境づくり」「地域の活性化及び安全安心できる環境づくり」など様々な自主事業を行いながら重点的に進めると共に子どもから年寄りまでが交流する「中本牧なかよし文化祭」や「中本牧出前寄席」などを開催し地域連帯を図ります。

(2) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の方法

利用者や地域との良好なコミュニケーションの形成、お便りボックスの設置、自主事業実施後のアンケート調査、区や施設の広報、他施設との情報交換、地域連絡会、利用者会議などを通して利用者や地域ニーズを様々な角度から把握するよう努めています。このようにして得られたニーズは区の重点対策などに十分配慮しながら、優先順位及び実施時期を明確にし、自主事業、施設整備等のソフト面・ハード面に反映させます。

3 施設でのサービスの提供に対する考え方

(1) 19年度におけるサービスの提供に関する基本的な考え方

会議室、多目的室、交流室、学習室それぞれの使用目的に沿って気楽に満足して使えるように利用者の目線に立った満足度の高いサービスを提供してまいります。

また、地元町内会や行政あるいは様々なサークル活動の拠点としての場の提供を目指し、それにふさわしい快適な空間・環境づくりのために、接遇のサービス向上を課題に、利用者の声を聞きながら努力を続けています。当協会では「すべての施設は利用者と地域のために」を館長憲章と定めモットーである「笑顔・親切・安全」をサービス提供の原点として、全職員に徹底しております。

(2) 会議室等の利用に関する取扱いについて

会議室・多目的室の利用については、団体利用を原則としています。

ただし、当日部屋の利用がない場合で希望がある場合は、延長貸し出しを行い稼働率アップを図っています。また、公共・公益団体の利用を優先していますが、いずれの場合も利用後の清掃など自主管理をお願いしています。また、すべての利用者に還元するために、利用に当たっては、任意の協力金（運営協力金）として200円の申し出を受け付けています。

(3) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

当施設が「地域活動団体の拠点としての場の提供」をその設立目的としていることを区の広報を通じてPRしております。また、部屋の貸し出しを通じてサークル活動の場のきっかけづくりを図り、団体からの相談に適切に対応・助言し必要に応じて個人情報保護に配慮しながら登録団体の紹介も行なっております。

(4) その他のサービス実施に関する計画について

「こどもの遊び場」の砂場を猫の糞公害から防止するため、午後5時から午前9時までシートを掛けて保護しています。また、ブランコやシーソーなど地面が穿（ほじ）られたのを朝、整地して気持ちよく使用できる状態にしています。また、春には、花壇にボランティアの協力で花を植え良好な環境づくりをします。

中学生対策として学校や警察・地域との連携を密にし、青少年の健全育成、安心して利用できる館づくりを図ります。

4 施設の経営に関する考え方

(1) 施設の効率的な管理運営のための計画について

(1) 当協会では、指定期間中この施設の運営にあたり、最小の経費で最大の効果を希求してこれを徹底します。それは、単に事務費・管理費などの経費の節減のみを意味するものではなく、自主事業でいえば、事業計画策定の段階での地域ニーズの的確な把握、投資効果の綿密な事前調査、事後の実施効果測定などその事業が施設本来の設置目的に適合しているかどうかを様々な視点から検証し、これに最も適った事業を実施するなど、合理的・経済的な管理・運営でなければならないことを意味しています。当協会は、このような経営方針の下に「効率管理検討部会」を設置し、その実効性を検証するなど、利用者の満足度の向上とあわせて、全力を尽くしてまいります。

(2)

ア) 経費節減に向けて年度ごとに目標値（18年度は2.5%減）を定め、サービスの低下とならないよう配慮しながら、事務費・管理費の見直しを図ります。

イ) 魅力ある事業を企画し、参加者からある程度の費用負担を求め、事業経費の節減に努めます。

ウ) 他施設との共催を積極的に行ない、経費節減等スケールメリットを活用します。

エ) 多様な自主事業を実施し、施設のPR及びサークル化を図り、部屋の稼働率のアップに努めます。

オ) 施設利用の一層の促進を図るため、図書館機能の整備・学習室の防音化・障害者に優しい設備の充実・くつろぎや交流の場の改善などに努めます。

カ) 区の窓口業務の取次ぎなど、区民の利便に配慮した施設を目指します。

(2) 利用料金の設定について

5 施設の運営に関する職員体制・情報保持等の考え方

(1) 職員の配置及び採用について

当協会では、館長1名及びこれを補佐する主任2名を配置し、また、窓口業務を担当するコミュニティスタッフ6名と作業スタッフ2名を、地域との一体性及び業務の普遍性に配慮し適正な採用基準の下に、意欲あるスタッフを区民から公募します。スタッフの配置については、半月毎の交代勤務及び午前・午後・夜間の区分（作業スタッフを除く）毎に1名の勤務体制をとっています。なお、館長と主任は常勤とし、日・祝祭日・日勤・夜勤などの区分毎にそれぞれ1名を配置し、スタッフとローテーションを組んで勤務する体制をとっています。

(2) 職員の研修計画について

当協会では、利用者の施設に対する好感度の第一は接遇にあることを念頭におき、当協会で行なう接遇及び人権研修には館長以下全職員が参加し、その趣旨を徹底しています。施設においても、実例を参考に、館長がそのつど事例に即した研修を実施し、苦情等の事後処理・相手方の言い分等を伝えながら、より効果的な研修としています。施設での定期的研修は、年1回の上記の全体研修のほか、四半期ごとに1回の**図書業務を含む業務研修**を実施しています。このほか、日常の事務引継ぎの際ミーティングで、これらを再確認しています。当協会はこれらの機会を通じて自己研鑽のきっかけづくりを図り、人権感覚に優れた意欲のある人材の育成に努めています。

(3) 個人情報の保護の措置について

当協会では、個人情報保護に関する法令・条例等の趣旨を周知するために全職員を対象に必要な研修を行うほか、施設においても実例を参考に館長が業務研修の一環としてこれらに関する研修を実施し、その実効性を図っています。当協会では、別に「中区区民利用施設協会個人情報保護方針」を定め、その遵守を全職員に徹底し、又、この方針を施設で掲載することにより、利用者に対しても個人情報適切にかんりされていることを周知しています。

6 緊急時対策について

(1) 防犯、防災の対応について

当協会では、この施設内外での犯罪や非行防止のため、スタッフが随時巡回するほか、利用者や近隣の住民と常時情報交換を行なっています。また、警備会社と業務委託契約し、夜間・休館日の防犯対策を講ずるほか、山手警察署に随時のパトロールを依頼しています。防災については、災害時、直ちに閉館し所定の消防計画に基づき自衛消防隊を立ち上げるなど、必要な処置を取れる体制となっています。又、所轄の中消防署の指導により、年2回、所定の防災訓練を実施しています。なお、当協会では「事故・事件の発生時における危機管理のあり方について」を定め、利用者の避難誘導・通報等の緊急連絡網の整備・緊急動員体制・他施設との連携及び応援体制等について、マニュアル等によりこれを所管の各施設に対し周知徹底しています。このほか、町内会等地域との協働で危機管理対応訓練の実施を検討しています。

(2) その他、緊急時の対応について

非常時の施設利用に対応するため、入り口の鍵及びカードを当協会及び区の所管課で、保管することとしています。施設や「子どもの遊び場」で利用者の急患が出た場合は、横浜市救急医療情報センターから適切な病院の情報を得て介助者に知らせるほか、必要に応じて、救急車の依頼も遅滞なく行なっています。また、非常時の特別避難場所として、区との連携の下に地域へ地域へ開放する方針としています。

7 その他

併設されているゴミの「資源ボックス」の整理整頓、関係先への連絡や周辺道路に放置されている自転車などの関係機関への撤去連絡などにつとめ、地域と一体となった環境づくりに努める。

平成19年3月2日

平成19年度 横浜市中本牧コミュニティハウス 収支予算書

収入の部

項目	金額(円)	備考
指定管理料	24,285,000	収入内訳1のとおり
その他事業収入	100,000	自動販売機収入等
小計(A)	24,385,000	

支出の部

項目	金額(円)	備考
人件費	16,862,000	支出内訳1のとおり
事務費	1,194,000	支出内訳2のとおり
事業費	500,000	支出内訳3のとおり
管理費	4,166,000	支出内訳4のとおり
事務経費	844,000	
公租公課	819,000	消費税相当分
小計(B)	24,385,000	

差し引き

(A) - (B)	0	
-----------	---	--

収入内訳1 指定管理料内訳

項目	金額(円)
人件費	16,862,000
事務費	1,194,000
事業費	500,000
管理費	4,166,000
事務経費	844,000
公租公課	819,000
その他収入(自販機等)	-100,000
計	24,285,000

支出内訳1 人件費

項目	金額(円)	備考
職員給与(館長)	3,592,000	@219,000×16.4月
職員給与(指導員)	6,520,000	@198,790×16.4月×2名
職員社会保険料等	1,515,000	健康保険料、健康診断、厚生年金、児童手当拠出金、雇用保険料、労災保険料
通勤費	359,000	(館長)@11,950×12月 (指導員)@26,930×年4回×2名
スタッフ賃金(通常)	4,377,000	(午前)@840×4時間×347日×1名 (午後)@840×4時間×347日×1名 (夜間)@890×4時間×285日×1名 (作業担当)@990×3時間×347日×1名
スタッフ賃金(休暇対応)	295,000	(午前)@840×4時間×8日×4名 (午後)@840×4時間×7日×2名 (夜間)@890×4時間×5日×2名 (繁忙期予備・その他) 105,000
スタッフ社会保険料等	96,000	健康診断(@8,200)、労災保険料
スタッフ交通費	108,000	@26,930×年4回×5名
計	16,862,000	

支出内訳2 事務費

項目	金額	備考
旅費	35,000	
消耗品費	434,000	
会議賄費	10,000	
印刷製本費	10,000	
通信費	230,000	
使用料及び賃借料	9,000	
備品購入費	100,000	
図書購入費	200,000	
施設賠償責任保険	39,000	
廃棄物処理費	90,000	ルート回収に伴う処分費
手数料	37,000	
計	1,194,000	

支出内訳3 事業費

項目	金額	備考
自主事業費	400,000	
ワンパク沙汰デー事業費	100,000	
計	500,000	

支出内訳4 管理費

項目	金額	備考
光熱水費	1,838,000	
清掃費	410,000	
修繕費	350,000	
機械警備費	510,000	
冷暖房設備保守	123,000	
消防設備保守	31,000	
電気設備保守	356,000	
害虫駆除清掃保守	38,000	
その他保全費	510,000	
計	4,166,000	

平成19年度 自主事業計画書

<新規事業>

施設名： 横浜市中本牧コミュニティハウス

募集対象	事業名 (教室名)	開催日	回数	参加人員		自主事業経費			1人当たり 参加費		講師謝金		共催先 ねらい・新規理由 PR方法
				募集 人数 人	延べ 参加 人数 人	委託料 支出総額 円	参加者 負担総額 円	総経費 円	徴収	参加費用 円	1回1講師 当たり 円	1教室 講師謝金 額 円	
一般	画材を揃えないで参加できるパステル画入門	4月～7月	6	16	96	28,000	88,000	116,000	有	5,500	6,000	36,000	すでに自主サークル化しているサークルへの補助
子ども	小学1年生から3年生の英会話レッスン	5月～10月	10	10	100	0	60,000	60,000	有	6,000	6,000	60,000	小学生の英会話力アップの介助
一般	体験講座「レッツ、フラダンス」	9月～	5	8	40	3,000	32,000	35,000	有	4,000	7,000	35,000	自主サークルのサポートのため
一般	初歩からのウクレレ	7月～12月	10	10	100	10,000	60,000	70,000	有	6,000	7,000	70,000	夜間の時間帯に勤労者向け講座
一般	ピラティス イン イングリッシュ	6月～10月	14	14	196	28,000	70,000	98,000	有	5,000	7,000	98,000	地域の要望
指定無	4館共催事業「ハンドベル演奏会」	12月	1	20	20	10,000	0	10,000	無	0	10,000	10,000	本牧中CH・大鳥中CH・本牧地区センター共催
一般	写真の撮り方講座	10月	5	10	50	0	35,000	35,000	有	3,500	7,000	35,000	男性の参加を増やし仲間づくりのサポート
一般	季節の寄せ植え講座	6月～11月	2	16	32	0	25,600	25,600	有	1,600	0	0	「緑の協会」共催 地域のニーズ

子ども	「子どものあそび場」で体育ごっこ	10月～11月	6	10	60	0	0	0	無	0	0	0	(財)横浜市スポーツ振興団共催 子どものあそび場の活用
子ども	開港150周年プレ事業 オペレッタにチャレンジ	10月～3月	12	16	192	40,000	96,000	136,000	有	6,000	13,000	156,000	英会話・ダンスを盛り込んだ集大成。発表の場の設定。本牧地区センター共催
一般	街の安全、防犯・防災講座	11月	1	40	40	0	0	0	無	0	0	0	連合町内会・大鳥中CH・本牧中CH・本牧地区センター共催
一般	大人のピアノレッスン始めませんか	11月～3月	8	6	48	20,000	60,000	80,000	有	10,000	10,000	80,000	
合計				176	974	139,000	526,600	665,600	—	—	—	580,000	

※共催先・ねらい・新規理由は具体的にご記入ください。

*全ての事業のPRは広報・中カレンダーポスター・ちらし・館内呼びかけ等で行なう

<継続事業>

施設名： 横浜市中本牧コミュニティハウス

募集対象	事業名 (教室名)	開催日	回数	参加人員		自主事業経費			1人当たり参加費		講師謝金		共催先 ねらい・新規理由 PR方法
				募集人数	延べ参加人数	委託料 支出総額	参加者 負担総額	総経費	徴収	参加費用	1回1講師 当たり	1教室 講師謝金額	
				人	人	円	円	円		円	円	円	
子ども	小学生絵画造形教室	4月～3月	12	20	240	72,000	120,000	192,000	有	500	6,000	72,000	ニーズが大変多い
一般	健康づくり教室	4月～3月	24	30	720	0	0	0	無	0	0	0	第4地区南部健康づくり運営委員会共催 地域のニーズ

未就園児 親子	わいわいパネルシアター・たまた ばことあそぼう	4月～3月	12	60	720	60,000	0	60,000	無	0	5,000	60,000	
どなたで も	「もみの木」のおはなし会	4月～3月	12	20	240	60,000	0	60,000	無	0	5,000	60,000	
指定無	おとな子どももいっしょに囲碁を しよう	4月～3月	12	16	192	10,000	0	10,000	無	0	0	0	
子ども	わくわく科学・社会教室不思議ふ しぎ	5月～12 月	9	20	180	10,000	0	10,000	無	0	5,000	40,000	大鳥中・本牧中・仲尾 台中CH共催
未就園児 親子	親子で楽しくエクササイズ	5月～3月	10	30	300	40,000	30,000	70,000	有	500	7,000	70,000	地域のニーズ
一般	ハマのもと事業 「横浜文学散歩」	5月～3月	6	20	120	17,000	0	17,000	有	0	7,000	42,000	開港150周年プレ事業 として行なう 大鳥 中・仲尾台中CH共催
一般	パソコン教室「ワード」「エクセル」 「インターネット」	6月～2月	18	8	144	36,000	144,000	180,000	有	3,000	10,000	180,000	人気講座
一般	愛唱歌をうたって健康づくり	6月～3月	10	40	400	10,000	60,000	70,000	有	1,500	7,000	70,000	地域のニーズが非常に 大きい
指定無	たなばた飾り	7月	5	30	150	2,000	0	2,000	無	0	0	0	地域の世話人が笹の 寄付
子ども	本牧ハロウィン	10月	1	200	200	24,000		24,000	無	0	0	0	本牧地区センター 大 鳥中・本牧中CH共催
指定無	中本牧出前寄席	1月	1	80	80	20,000		20,000	無	0	0	0	第4地区北部・南部健 康づくり運営委員会共 催
合計				574	3,686	361,000	354,000	715,000	—	—	—	594,000	

※共催先・ねらい・新規理由は具体的にご記入ください。

500,000

*全ての事業のPRは広報・中カレンダー・ポスター・ちらし・館内呼びかけ等で行なう

横浜市中本牧コミュニティハウス 自主事業計画書(内訳)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康づくり教室	第4地区南部健康推進委員会と共催。地域の年配者たちに呼びかけ、無理なく体に効果のある体操・レクレーションダンス・栄養士による講話・散策などで中高年齢者の健康維持・増進を図るとともに地域住民交流の場とします。	4月～3月・24

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わいわいパネルシアター	幼児親子の来館が多いという特長を生かし育児支援のための継続事業です。「中なか大学」からの卒業サークル「たまてばこ」による入園児前親子対象。かわいいパネルを使い歌遊び・手遊びなど参加者がいっしょに楽しみ、友だちづくり・交流の場ともなります。	4月～3月・12

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初歩からのウクレレ	地域で気軽に気楽に音楽にいそしみ癒しにもなる楽器演奏の事業です。地域の要望もあり、発表することにより意欲を高めるとともに地域交流を図ります。	7月～12月・10

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「もみの木」のおはなし会	「中なかだいがく」より発ちあがったサークル「もみの木」による本の読み聞かせ。子どもたちの大切な成長にかかわる「本の読み聞かせ」ができるボランティアをサポートし、施設・学校等での活動をも目指します。	4月～3月・12

横浜市中本牧コミュニティハウス 自主事業計画書(内訳)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おとなも子どもも いっしょに囲碁を しよう	カードゲームが主の小学生に囲碁のおもしろさを教える企画です。地域の方に講師をお願いして子どもから一般まで 交わり、月1回対戦をする時・場所を設けるよう企画しています。 世代を超えた交流 により礼儀・知恵・理解を自然に学んでいきます。継続事業。	4月～3月・12

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中本牧出前寄席 (新年を笑う門出 に福来る)	地域の皆様に新しい年を笑いで迎えていただき、身も心も健康にと願いを込めた継続事業です。落語・漫談・手品などを混ぜ飽きないように企画し横浜市職員など好評だったボランティアサークルに出演を依頼します。第4地区北部・南部健康づくり教室運営委員会共催。	1月・1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で楽しくエク ササイズ	育児講座。入園前お子さんの保護者の希望が多く、中区区政方針でもある みんなで育む子ども の一役を担う講座。一人で悩まないよう保護者同士の友だちづくり、相談の出来る場所づくりとします。また親子で運動することによるリラックス・触れ合い、体力づくりのサポートもします。	5月～3月・10

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わくわく科学・社 会教室不思議・ ふしぎ	技術経験豊かな企業退職者が講師となっている「ダイヤかながわ交流会」や東京工業大学同窓会の「蔵前工業会」が講師陣となり、理科遊び(金魚とあそぼう・備長炭電池づくり・電気ペンでお絵かき・光学・液晶)や社会教室を「世界がもし100人のむらだったら」のようなわかりやすい資料で考え実験・学習していきます。大鳥中CH・本牧中CH・仲尾台中CHと共催。各館講座を2回ずつ行い1回は「三菱みなと未来館」を見学する計9回の事業です。	6月～2月・9

横浜市中本牧コミュニティハウス 自主事業計画書(内訳)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
4館共催事業「ハンドベル演奏会」	クリスマスの時期に人形の家舞台・劇場を借用し、練習してきたハンドベル演奏のご披露をします。合わせ名高いハンドベル演奏者たちの演奏を行ない地域の皆さまに音楽の安らぎを与えたり、外に出るきっかけづくりになるよう考えた新規事業です。たくさんの集客になるよう本牧地域にある4館が共催で行ないます。	12月・1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
写真の撮り方講座	男性の仲間づくりをサポートする講座。カメラの構造から上手な写し方まで、開港150周年に合わせて外にでて港の写真や被写体を撮る実習もおこなう。	10月・5

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
季節の寄せ植え講座	初夏と初冬に季節の花を寄せ植えし植物と土に親しみます。植物同士の合性、植物の植え方・育て方も共催の「緑の協会」の派遣講師が指導します。植物と土の手配は良い物を講師がしてくださり、参加費は材料費のみで講師はボランティアです。	6月～11月・2

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
画材を揃えないで参加できるパステル画入門	パステルやスケッチブックにも種類があり初めて始めるには準備が難しいので画材を安くまとめて揃え参加しやすいように考えます。すでに立ちあがっている自主サークルのサポートも合わせた事業です。夜間の時間帯にし昼間参加しにくい人の参加や利用を増やす目的もある新規事業です。	4月～7月・6

横浜市中本牧コミュニティハウス 自主事業計画書(内訳)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ピラティス イン イングリッシュ	地域中高年対象の激しくきつい動きのないストレッチです。初めての方も参加しやすく、快くリラックスできます。 参加者の健康維持 を図ります。英語でレッスンする講師なので耳から英語に親しむこともできます。新規事業。	6月～11月・10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小学1年生から3 年生の英会話 レッスン	青少年育成支援 のための新規事業。小学校から使える英語の授業が重視されている今、地域からも応援していきます。小学生対象に挨拶・日常会話・歌等を英語で自然に話せるよう、楽しく学んでいくよう企画しました。対象を1年生から3年生までとしてレベルの差が開かないようにします。	5月～10月・10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
開港150周年ハ マのもと事業 「横浜文学散歩」	開港150周年 に向けて、地元の有識者による横浜を舞台にした文学作品の解説・講釈と舞台となっている周辺の散策。開港150周年に向けての継続事業。大鳥中CH・仲尾台CHとの共催。	5月～3月・4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
街の安全、防犯・ 防災講座	地域の安全を考えるための町内会等との共催事業 。安全・安心まちづくりのために「くらし安全指導員」・山手警察署員による身近な犯罪の発生状況とその手口、悪徳商法や空き巣対策など防犯対策を寸劇により楽しく身につける講演会です。	11月・1

横浜市本牧コミュニティハウス 自主事業計画書(内訳)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
愛唱歌をうたって健康づくり	中・高齢者の参加・継続希望が非常に多い継続事業。 歌唱指導ではなく、講師のアコーディオンに合わせておもしろいようにうたっています。気分もすっきりしてストレス解消にもなり健康の保持にも役立っています。	10月～3月・10

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
オペレッタにチャレンジして発表しよう	青少年育成支援 のための新規事業。英語や日本語の曲に合わせてステップやダンスや歌を楽しむ。元気いっぱいのジュニア対象。発表の場を設け目標に向かって頑張る気持ちも育てます。	10月～3月・12

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「子どものあそび場」で体育ごっこ	「子どものあそび場」を利用する新規事業。(財)横浜市スポーツ振興団に協力を仰ぎ「あそび場」にある遊具の使い方から縄跳び・体育的要素の強い幅跳び・逆上がりまで指導していただく。体育が苦手の子のサポートと得意の子の育成をも目指す事業です。	10月～11月・6

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パソコン教室	地域のニーズに応え企画してきた継続事業。毎回キャンセル待ちの希望者がたくさんいます。「ステップアップワード」・「ステップアップエクセル」「便利なインターネット」に内容的には同じだがよくばりコース・ゆっくりコースをそれぞれ設け参加者の気持ちに合わせて選ぶことが出来るようになっていきます。	4月～3月 3日コースを6回